

解答

- 問一 ①
 1 おごそ 2 しんぺん 3 と 4 えんそう 5 ぼけつ
 6 ほんもう 7 きぬ 8 しゅくしゃく 9 こうらん 10 のうり
- 問二
 1 模型 2 尊敬 3 予期 4 警告 5 各地
 6 俳句 7 憲法 8 散策 9 改良 10 寒暖

- 問一 ②
 問二 ウ イ
 問三 イ
 問四 なんともいえぬうれしい気持ち
 問五 ⑤ エ ⑥ イ
 問六 自分の気持ちをさばさばと言葉にして言えるから。
 問七 初江がもう

- 問一 ③
 問二 エ
 問三 優位な立場
 問四 同情的言葉
 問五 エ
 問六 イ
 問七 発する側が想像力をはたらかせて行動し、受け取る側が「自分をわかってくれた感」を持てるやりとりのこと。
 ア、ウ

解説

- 問四 ②
 問五 ③
 問六 ④
 問七 ⑤
- 問一 いつもどおりの悪い点数にがっかりしていた初江だったが、まちがってゆり子に渡された九十五点の答案が自分のものだと気づき、「なんともいえぬうれしい気持ち」になっています。
- 問二 初江が坂本カツミをうらやましく思う理由が、次の文章に描かれています。その部分を自分なりの言葉でまとめてみましょう。
- 問三 「発する側が相手の心情に対して・・・これを「共感」というのです」という部分を要約します。